

第 1 回紙加工品（衛生用品分野）物流研究会 議事概要

令和 3 年 10 月 27 日（水）15 時 00 分～17 時 00 分
オンライン（zoom）／中央合同庁舎 2 号館 1 階 第 1 会議室

- （1）研究会の座長に矢野委員が選任された。
- （2）事務局及び委員から資料説明の後、意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

（研究会について）

- ・ 2024 年問題対策の一環として、パレット輸送によるトラックドライバーの労働時間の削減が必要。
- ・ 多くの物流関係者が一堂に会して情報交換する機会であり、研究会で工夫しながら各社の情報を共有し、効果的な手法について意見交換していくことが重要。
- ・ 各社の物流部門だけでは解決できない問題であり、他の部門へアプローチする際には他社の事例を示して説得材料にすることも重要。
- ・ 各社は市場では競合しているが、物流は共同した取組みが可能。
- ・ 業界全体が良くなるよう、総論賛成各論反対が少しでも賛成になるように議論し、成果物をアウトプットすることが必要。

（パレット化について）

- ・ 今後、パレット化の拡大に向けては、商品面・コスト・積載効率の問題が課題。
- ・ 各社によってサプライチェーンのデザインに違いがある中で、全体最適化をどうすべきかの検討が必要。
- ・ パレットに積む高さについては、活用する輸送モードも考慮する必要。
- ・ レンタルパレットの場合、共同回収の活用が可能。
- ・ パレット化が進むことで、回収の問題や事務工数が煩雑化することも踏まえた議論が必要。
- ・ 業界ごとにパレット化の取組みが進められており、他業界との統一性の観点も重要。

(パレットサイズについて)

- ・ 自動倉庫は T11 型パレットで標準化しており、他のパレットサイズで入荷すると積み替え作業が発生することが課題。
- ・ パレットサイズが複数使われることにより、マテハンや保管効率への影響が懸念。
- ・ パレットサイズが多様化した場合、回収・循環体制が課題となるため、解決策の検討が必要。
- ・ 複数のパレットサイズを利用する場合、サプライチェーン全体で対応できるのか懸念。

(外装サイズについて)

- ・ 外装サイズの変更は納品ロットの変更により、横持ちの発生や仕分けコスト増加の懸念があるため、小売業の協力も必要。

(長時間労働について)

- ・ トラックドライバーの長労働時間の要因となる荷待ち時間がどの程度発生しているのか、データがあればお示しいただきたい。